



## 慶應義塾高等学校 開設70年事業

慶應義塾高等学校は、2018年に開設70年を迎えます。これを契機として、さらに10年後、20年後をも見据えつつ、高等学校は「日吉協育モデル」と名付ける未来志向の新たな教育プログラムを構築し実践します。

1. 「日吉協育モデル」は、義塾の教育理念と日吉キャンパスの特性を活かすモデルです。  
義塾の理念 … 半学半教の精神、社中協力の実践、地域や社会との協生  
日吉の特性 … 無限の広がりとなつたり、多様な個性と能力
2. 「日吉協育モデル」は、「正統」と「異端」<sup>イノベーション</sup>を兼ね備えた人物を「協育」します。  
「協育」とは、相互に作用し協力しながら育み合うこと  
「正統」とは、当然に身に付けるバランスのとれた知・徳・体  
「異端」<sup>イノベーション</sup>とは、「正統」を踏まえて磨き高められる傑出した個性・能力・技量
3. 「日吉協育モデル」は、より広い意味の「グローバルリーダー」たる人物を育みます。  
現在を踏まえつつ、さらに新たな道を切り拓く力を有する人間  
場所や時代を問わず、自らの持てる力を存分に発揮できる人間
4. 「日吉協育モデル」は、在校生支援と国際化をベースに三つの要素を柱とします。



開設70年事業は、周年記念の祝賀事業ではなく、高等学校の未来を構築する事業です。詳しくは、開設70年事業ウェブサイト (<http://www.70th.hs.keio.ac.jp/>) をご覧下さい。

2014年10月 慶應義塾高等学校